

七高SSH通信

R3・9・28
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第6号

全国高等学校総合文化祭

7月31日(土)～8月6日(金)にかけて、第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)が和歌山県で行われました。石川県代表として本校から、自然科学部門(生物)の『クモの巣における縦糸と横糸の役割』のグループ(36H 政氏くん・渡邊くん)、自然科学部門(物理)の『斜面を流れ落ちる流水中の球の運動』のグループ(36H 杉谷さん・名山さん)、が参加し、会場の近畿大学生物理工学部において自分たちの研究について発表を行いました。

クモの巣における縦糸と横糸の役割



斜面を流れ落ちる流水中の球の運動



SSH 生徒研究発表会

文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の主催で、8月4日(水)・5日(木)に、神戸国際展示場にて、令和3年度SSH生徒研究発表会が行われました。本校代表として『メイラード反応のメラノイジン生成に影響を与える要因について』のグループ(36H 鈴木さん・松生くん)が参加しました。

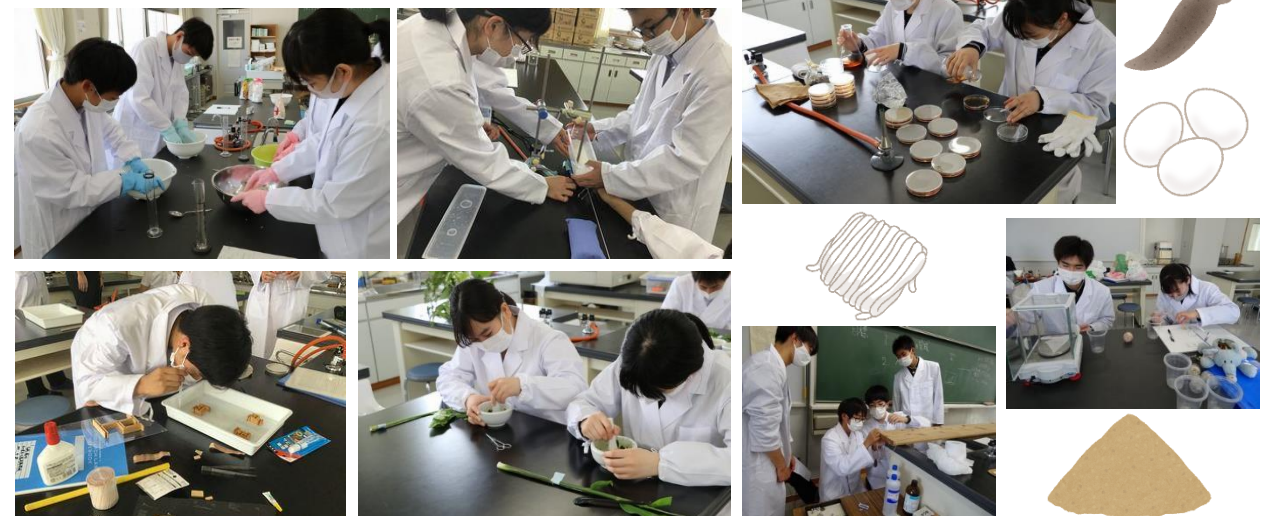


自然科学研究Ⅱ(課題研究)

水曜日の6・7限目に2年生理数科には「自然科学研究Ⅱ(課題研究)」という授業があります。これは理数科独自の授業で、生徒たち自身で研究テーマを設定し、先生の助言をもとに自主的に1年間研究するというものです。研究活動を通して、探究能力や表現力などを育成することをねらいとしています。

現在4人のグループごとに、グループのテーマに沿った活動をしています。生徒たちは自分たちで立てた活動計画をもとに、必要な実験器具を工夫して製作したり、先行研究や参考資料を調べたりしながら、11月の校内課題研究発表会に向けて、たくさんの実験を重ね、グループ内で討論しながら研究をまとめていきます。そして優秀なグループは12月に行われるサイエンスシンポジウム(SSH石川県生徒研究発表会)に学校代表として出場します。

これらの研究は、校内の発表会の他、学会や県内の生物・物理・化学の発表会等で発表を予定しています。また、県代表や学校代表に選ばれた研究は、来年夏の全国総合文化祭やSSH全国生徒研究発表会に参加します。



金沢大学「理学の広場」

8月7日(土)、金沢大学理工学域と石川県教育委員会の共催で金沢大学「理学の広場」～夏休み高校生のための理学体験セミナー～がオンラインで行われました。この行事では、県内の高校生たちが、高校の授業ではあまり触れられないテーマについて、数学、物理、化学、生物、地学、情報・計算科学の6種類のセミナーに分かれて実験等をします。

本校からは7名の生徒が参加し、『複雑な自然界のパターンを簡単なルールでモデリングしよう』や、『能登で学ぶ海洋・水研究の最前線』など最先端のサイエンスを体験しました。

